

(2) 水中バックホウによる管路埋設工法

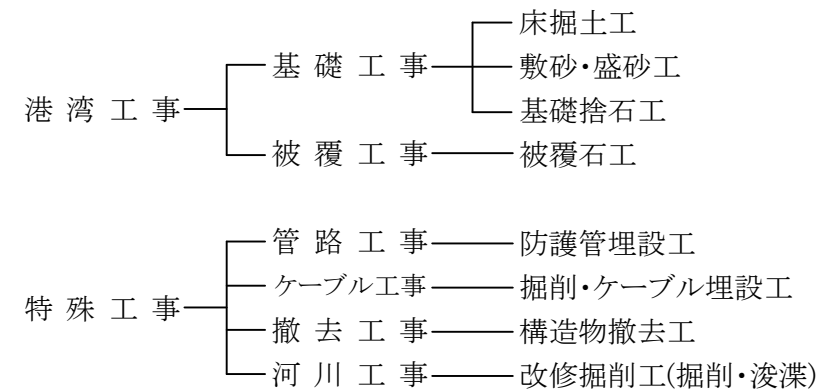
[施工概要]

海底ケーブル布設に伴い、ケーブル揚陸部(水深30m以浅)に水中バックホウを使用し、ケーブル防護管を埋設する工法

(特長)

- ・ 海底であるが直接、潜水士により水中バックホウを操作し、掘削及び管路埋設が可能。また、作業状況は、支援船上でモニターにて監視することができる。
- ・ バックホウのアタッチメントを交換することにより、様々な地質に対応できる。(転石除去、岩盤破碎等)
- ・ 船舶が入れない場所でも自走が可能である。

(その他対応工種)



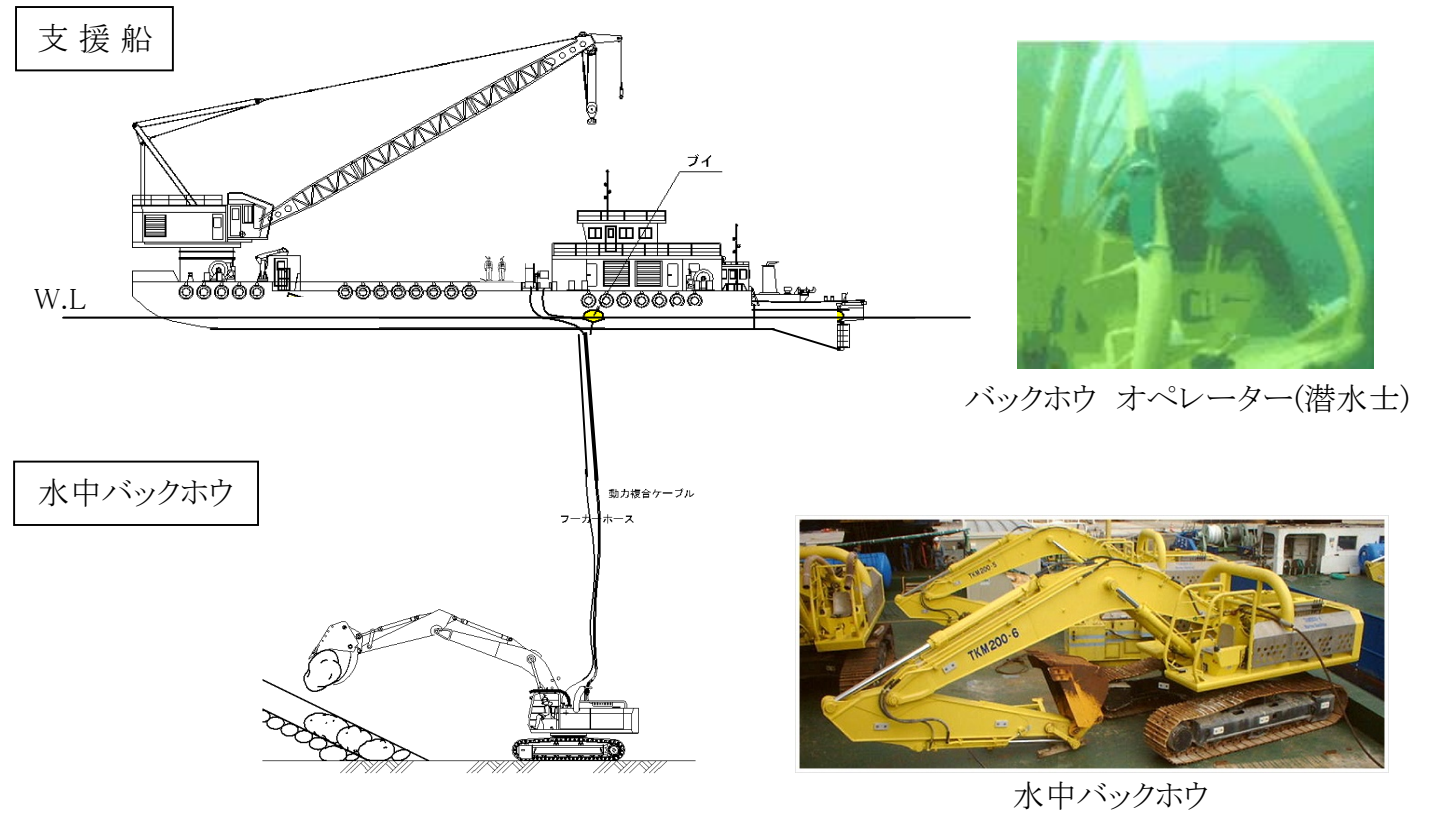
(施工実績)

66kV松島奈良尾線新設工事のうち陸上部管路及び揚陸部防護管設置工事(揚陸部 0.6km)
22kV浦桑小値賀線新設工事(地中線部)のうちケーブル延線工事(海底ケーブル部)(亘長 15.4km)

[水中バックホウ諸元]

項目		0.4m ³ 級	0.5m ³ 級	1.2m ³ 級
寸法	長さ (mm)	3,320	3,750	4,710
	幅 (mm)	2,490	2,490	3,190
	高さ (mm)	2,592	2,650	3,050
重量	気中 (t)	12.1	13.5	23.5
	水中 (t)	9.0	12.0	20.0
駆動方式		電動油圧方式		
作業水深		水深 1.5m～水深 50.0m		
登坂能力		最大 30度		
施工範囲		ケーブル最大延長実績 800m		
油脂類	作動油	成分解性作動油 (環境対策)		
	グリス	成分解性グリス (環境対策)		

[施工概要図]



作業状況(写真奥は支援船)



作業状況



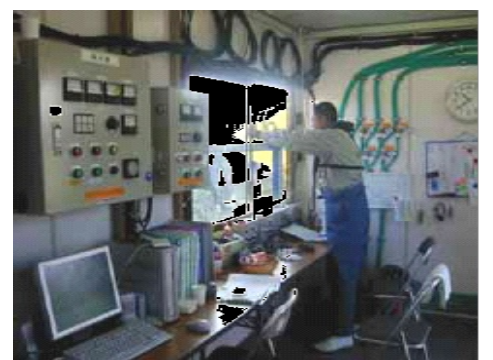
掘削作業状況



岩盤層削岩作業状況



ケーブル防護管設置状況



潜水支援室